
仮面ライダーディバイド

shamu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーデジバイド

【コード】

N5662M

【作者名】

shamu

【あらすじ】

デジバイド・・・

このライダーが存在する限り平和であると言われる

そして、

デイクイドを倒せる唯一のライダーである。

大ショッカーが他の世界に飛ばし、偶然にある世界に到達したことにより

デイバイドの物語が始まる
デイバイド世界を回り
その力で何を守る？

悪夢 or 正夢

ここは何処だ。

本当に日本なのだろうか。

変哲もない峠の真ん中に、自分が立っている。

辺りを見回してみると・・・

人らしき面影が見えた。

その瞬間！

オローラが現れライダーが続々と現れてきた。

人らしき面影を目指して

ただ一直線に向かっている俺を通り越して。

「デイケイドを倒せ！

あいつが存在すると、

全ての世界を滅ぼすぞ。」

先頭にいるクウガが言った。

デイケイドは余裕があるらしく直立不動のままだ・・・

すると、ライダー達に

ビームやミサイルが飛んできて、地上に落ちるたびに爆発している。

そして、次々とライダーが倒れていくこの攻撃のなかにも生き残っ

たライダーがいた。クウガ、アギト、龍騎、

ブレイド、響鬼、カブト、電王、キバだ。

ダメージで立っただけで精一杯のようだ。

このままでは・・・

「俺の邪魔をする奴は全部破壊してやる。たとえ、ライダーでもな・・・」

冷たく言い放ち、一枚のカードをドライバーに装填した。

ファイナルカメンライド

デイデイドイデイド!

ブラストモードで

放たれたビームが直撃!

9人のライダーは倒れて、動かない。

「俺に勝てるライダーなど存在しない。自分の世界を守っていけばいいものを」

誇らしく告げて

立ち去ろうとした瞬間、

銃弾が当たった。

「最期に言い残すのはそれだけかい。君を倒さないといけないんだ

。。。「貴様は・・・誰だ？」

黄色のライダーみただ。

「簡単にいうとお前を唯一倒せる男かな。」と

自信満々に答える。

デイケイドは不適に笑い、「楽しませてくれよ

新しいライダーよ。」

両者が間合いを取りカードを装填したところで現実に引き戻された

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5662m/>

仮面ライダーディバイド

2010年10月10日13時41分発行